

☆決勝を制したのは札幌市職連☆

準優勝 帯広市労連

| | | |
|---------|--|-------|
| 決勝戦 A-5 | | |
| 帯広市労連 | 0 | 札幌市職連 |
| | | |
| | $\left(\begin{array}{l} 10 - 21 \\ 18 - 21 \end{array} \right)$ | |
| | | |

2年前と同じとなった決勝戦、両チームともここまでストレートで勝ち上がってきた。

札幌が序盤から強いサーブで帯広のレシーブを崩す展開で圧倒し10対21で第1セットを取る。第2セットも札幌の勢いは止まらず多彩なコンビネーション攻撃を展開。

帯広も繋ぐバレーで対抗し9番河瀬、2番鳴海のスパイクも決まりだし15対16と点差まで詰め寄るが札幌8番角田のサービスエースなどで15対20と突き放し、最後は札幌3番堀部のスパイクで優勝を決めた。

札幌市職連は2大会連続の全国大会出場を手にし、帯広は2年前の雪辱を果たすことはできなかった。

